

平成23年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

平成23年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成23年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年月日	会議名称	場所等	議案
平成23年6月7日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度事業報告及び収支決算について 2.定時評議員会の招集事項について
平成23年6月16日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成22年度事業報告及び収支決算について 2.理事の選任について
平成23年10月19日	第2回理事会	大阪府立弥生文化博物館 館 1階ホール	1.平成23年度 補正予算書(案)について 2.平成23年度 事業の進捗について 3.中期経営計画の作成について
平成24年1月18日	理事会	書面表決	1.臨時評議員会の招集事項について
平成24年2月21日	臨時評議員会	大阪赤十字会館 4階 401会議室	1.理事の選任(案)について 2.評議員の選任(案)について
平成24年3月22日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事の選定について 2.平成23年度第二次補正予算書(案)について 3.平成24年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

2. 役員・評議員の異動状況

年月日	就任	辞任
平成23年4月1日		理事 山口 淳一
平成23年6月17日	理事 岡崎 尚喜	
平成24年3月31日		理事長 水野 正好
平成24年3月31日		理事 金関 恕
平成24年3月31日		評議員 田邊 征夫

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府下における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

(1)〔中部調査事務所管内〕

①西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
成合遺跡〔調査〕	35,354,000	6,291	高槻市
成合遺跡隣接地確認〔試掘〕	2,023,000	57	高槻市
金龍寺旧境内跡(2)他〔確認・試掘〕	4,111,000	700	高槻市
茨木市千提寺地区〔試掘〕	16,937,000	2,119	茨木市
千提寺西遺跡〔調査〕	11,850,000	1,382	茨木市
千提寺南遺跡〔調査〕	5,875,000	1,600	茨木市
止々呂美城跡〔調査〕	129,724,000	9,436	箕面市

②西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業、ならびに大阪府都市整備部 茨木土木事務所が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路)事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
金龍寺旧境内跡〔調査・整理〕	(西) 4,559,881 (府) 14,519,119	2,935	高槻市

③大阪府都市整備部 茨木土木事務所が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス(高槻東道路)の工事用進入路整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
萩之庄南遺跡〔調査〕	9,761,000	1,074	高槻市

④西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線八尾パーキングエリア新設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
久宝寺遺跡〔調査〕	43,343,000	1,250	八尾市

⑤独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄清算事業西日本支社が施行する吹田(信)基盤整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡(12)〔調査・整理〕	14,240,000	1,492	吹田市・摂津市
西の庄東遺跡〔調査・整理〕	23,208,000	3,736	吹田市

⑥独立行政法人 都市再生機構西日本支社が施行する北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡・明和池遺跡〔調査・整理〕	103,527,000	9,917	吹田市・摂津市

⑦独立行政法人 都市再生機構西日本支社が施行する摂津市千里丘四丁目地区防災公園街区整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡〔調査・整理〕	10,578,000	245	摂津市

⑧財務省近畿財務局が施行する公務員宿舍枚方住宅（I期）整備事業民活プロジェクトに伴う発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡〔調査・整理〕	45,512,000	1,716	枚方市

⑨近畿日本鉄道株式会社が施行する近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡〔調査・整理〕	24,823,000	158	東大阪市

⑩株式会社長谷工コーポレーションが施行する(仮称)阿波座駅前プロジェクト地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
旧大阪府庁舎〔調査・整理〕	20,083,000	4,990	大阪市

⑪イオンモール株式会社が施行する大型店舗建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
讃良郡条里遺跡〔調査〕	23,500,000	5,269	四條畷市・寝屋川市

⑫大阪府都市整備部 寝屋川水系改修工営所が施行する恩智川治水緑地事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池島・福万寺遺跡Ⅱ-11〔調査・整理〕	72,806,000	3,826	八尾市
池島・福万寺遺跡Ⅱ-12〔調査・整理〕	69,538,000	4,220	東大阪市
池島・福万寺遺跡Ⅱ-遺物整理2〔整理〕	36,861,000	0	東大阪市・八尾市

中部調査事務所管内 計

受託件数	22件
受託金額	722,733,000円
調査面積	62,413㎡

(2)〔南部調査事務所管内〕

①大阪広域水道企業団 東部水道事業所が施行する送水管布設替工事(4 拡南部幹線・東大阪市) 事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
鬼虎川遺跡〔調査・整理〕	21,804,000	149	東大阪市

②大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地) 地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡〔調査〕	37,003,000	2,073	柏原市

③大阪府住宅まちづくり部 住宅経営室住宅整備課が施行する大阪府営瓜破西(第3期)住宅(建て替え)建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡〔調査〕	54,431,000	3,310	大阪市

④阪神高速道路株式会社が施行する大阪府道高速大和川線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
並松町遺跡〔調査・整理〕	25,809,000	1,694	堺市

⑤大阪府都市整備部 富田林土木事務所が施行する都市計画道路 大和川線外事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大和川今池遺跡(5)〔調査・整理〕	7,212,000	64	松原市・大阪市

⑥大阪府都市整備部 富田林土木事務所が施行する都市計画道路 大阪河内長野線整備事業
地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池内遺跡 (2・府道)〔調査・整理〕	23,953,000	1,058	松原市
池内遺跡 (3・松原市道)〔調査〕	21,182,000	1,629	松原市

⑦泉佐野市が施行する泉佐野市立長南小学校屋内運動場増改築事業地内の発掘調査

遺 跡 名	受託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
諸目遺跡〔調査〕	6,084,000	1,131	泉佐野市

南部調査事務所管内 計

受託件数	8件
受託金額	197,478,000円
調査面積	11,108㎡

<調査事業総計>

受託件数	30件
受託金額	920,211,000円
調査面積	73,521㎡

(平成18年度 調査面積)	55,996㎡
(平成19年度 調査面積)	63,170㎡
(平成20年度 調査面積)	70,203㎡
(平成21年度 調査面積)	67,626㎡
(平成22年度 調査面積)	58,255㎡

2. 技術支援

平成21・22年度に引き続き、鳥取西道路建設事業地内で実施された高住井手添遺跡・高住平田遺跡・良田平田遺跡の発掘調査について、財団法人鳥取県教育文化財団からの依頼に基づいて3名の職員を同財団に出向させ、発掘調査の技術支援を行った。

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 平成23年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5月22日	滋京阪連携歴史講演会 2011「祈る・作る・運ぶの考古学」「祈るの考古学」	一般	滋賀県立図書館	61	東日本大震災復興支援事業として京都府・滋賀県と連携して実施、三好が講演
6月16日	「古墳時代の台所革命 ―炉から竈へ―」	一般	大阪府立中央図書館	64	「大阪歴史探訪」第1回目として博物館と連携して実施、合田が講演
6月19日	滋京阪連携歴史講演会 2011「祈る・作る・運ぶの考古学」「作るの考古学」	一般	大阪府立弥生文化博物館	58	東日本大震災復興支援事業として、京都府・滋賀県と連携して実施、黒須が講演
7月3日	滋京阪連携歴史講演会 2011「祈る・作る・運ぶの考古学」「運ぶの考古学」	一般	長岡京市産業文化館	102	東日本大震災復興支援事業として、京都府・滋賀県と連携して実施。信田が講演
8月18日	「民家と風土考―日本発の野外博物館でみる各地の様相―」	一般	大阪府立中央図書館	47	「大阪歴史探訪」第3回目として博物館と連携して実施、小島が講演
10月2日	「触れて学ぶ 秀吉の大坂城」	一般	近鉄文化サロン阿倍野	41	近鉄文化サロン阿倍野との共催講座として実施、江浦が講演
11月27日	「古市古墳群とその周辺」	一般	国民会館	283	平成23年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
12月15日	「豊臣氏滅亡への序章―考古学からみた大坂冬の陣」	一般	大阪府立中央図書館	82	大阪歴史探訪」第1回目として博物館と連携して実施、江浦が講演
1月15日	「卑弥呼の時代の農耕技術」	一般	大阪府立弥生文化博物館	65	弥生文化博物館「古代史発掘―この大阪―」において江浦が講演
1月21日	『天下の台所「大坂」―魚食文化の歴史を探る』第1回「貝は語る」	一般	大阪府立弥生文化博物館	60	平成23年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
1月24日	「発掘された水田と畑のまつり」	一般	大阪府立弥生文化博物館	67	弥生文化博物館「古代史発掘―この大阪―」において水野理事長が講演

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
1月29日	「旧大阪府庁舎跡の調査」	一般	大阪府立弥生文化博物館	32	弥生文化博物館「古代史発掘－この大阪－」において市村が講演
2月5日	『天下の台所「大坂」－魚食文化の歴史を探る』第2回「魚は語る」	一般	大阪府環境農林水産総合研究所	63	平成23年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
3月11日	『天下の台所「大坂」－魚食文化の歴史を探る』	一般	エル・シアター	206	平成23年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
3月18日	調査成果報告会「おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	44	大阪市・大阪府立近つ飛鳥博物館との共催事業
3月20日	「難波大道の発掘調査成果」	一般	太子町立竹内街道歴史資料館	29	共催展示の関連事業、福佐が講演

計 1,304名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
5月7日	「八尾の遺跡を知ろう－久宝寺遺跡の墳墓と古墳」	一般	八尾市立しおんじやま古墳学習館	「しおんじやま学び場」において、亀井が講演	30
5月22日	「弥生のムラの物語」	一般	大阪府立弥生文化博物館	「考古学セミナー」において、三宮が講演	79
6月11日	「ムラの地形の変化」	一般	大阪府立弥生文化博物館	「考古学セミナー」において、井上が講演	87
6月14日	「池島・福万寺遺跡の調査」	一般	くすのきプラザ会議室	平成23年度くすのきカレッジ(日本史・郷土史)において、塚本が講演	40
7月7日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	堺 自由の泉大学 歴史探訪と考古学講座において、鹿野が講演	43
7月12日	「花屋敷遺跡の調査」	一般	くすのきプラザ会議室	平成23年度くすのきカレッジ(日本史・郷土史)において黒須が講演	46
7月20日	「埋蔵文化財調査中間報告」	関係者	上止々呂美自治会館	止々呂美地域まちづくり協議会の依頼を受けて、信田が講演	15

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
7月27日	「岩田地区周辺の発掘調査から」	一般	岩田自治会館	東大阪市立岩田西小学校の依頼をうけ、黒須が講演	40
9月24日	「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館土曜講座において、奥村が講演	17
10月6日	「止々呂美城跡の発掘調査」	自治会	JA止々呂美特産物センター	止々呂美自治会への説明会で信田が講演	35
11月24日	「弥生文化博物館の明日」	学生	桃山学院大学	桃山学院大学が行う「就業力GP」で江浦が講義	5
12月3日	「旧大阪府庁跡の調査」	関係者	道頓堀ホテル	平成23年度大阪市西区体育厚生協会反省会で市村が講演	143
2月25日	難波宮大極殿発見50周年記念『難波宮 百花斉放』	一般	中央公会堂	当センター後援事業、水野理事長・江浦が講演	724

計 1,304名

2. 現地説明会・現地公開事業

平成23年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月30日	旧大阪府庁舎跡現地説明会	一般	旧大阪府庁舎跡(11-1)	923
10月29日	明和池遺跡現地説明会	一般	明和池遺跡(11-1)	158
3月24日	讚良郡条里遺跡現地説明会	一般	讚良郡条里遺跡(11-1)	281

計 1,362名

3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月27日～8月2日	夏季集中講座「考古学入門」	大阪府立今宮高校2年生	瓜破北遺跡ほか	7
10月14日	平成23年度「古代史研究旅行」	和光高校2年生	瓜破北遺跡	21
12月8日～9日	「職業体験学習」	東大阪市立池島中学校2年生	池島支所ほか	3
12月9日	集中講座「考古学入門」	大阪府立大手前高校生	瓜破北遺跡	20

計 51名

(2) 発掘現場等の見学の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
8月23日	発掘現場見学	外国人 研修者	瓜破北遺跡	3	独立行政法人国際協力機構 (JICA)「考古資料の発掘と 保存管理」研修の一環
12月7日	発掘現場見学	幼稚園 園児	大和川今池遺跡	110	木の実幼稚園(年長組4ク ラス)が見学

計 113名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
9月17日～ 10月10日	スポット展示「寝屋川市高 宮遺跡の発掘調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博 物館	大阪府立近つ飛鳥博物館で のスポット展示
11月5日～ 11月8日	「旧大阪府庁跡の発掘調査 写真パネル展」	一般	大阪市立中央図書館	「西区民まつり 文化のつ どい」での関連展示
2月22日～	パネル展示 「大阪考古楽」第一話	一般	りそな銀行泉北支店	りそな銀行特定寄付信託の 寄付先の一つとして連携
3月7日～	「最古の官道・竹内街道の 源流－難波大道の発掘調査 －」	一般	太子町立竹内街道歴 史資料館	太子町立竹内街道歴史資料 館との共催事業

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報(22年度)を編集し、発行した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行った。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第17回の平成23年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、財団法人長岡京市埋蔵文化財センターが開催法人となり、平成23年11月11日(金)、京都府長岡京市中央生涯学習センターで開催された。『文字、記号、絵画の世界』というテーマで8本の研究発表が行われ、当センターからは永野 仁が「龍を描いた土器」と題して発表を行った。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成23年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	355冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,945冊
計	2,300冊
累計	81,130冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計80,600レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
出雲弥生の森博物館	特別展「弥生人の姿—倭人伝の人々—」	池島福万寺遺跡出土 人形土製品ほか
等27件	計	1,430点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
大阪府立 弥生文化博物館	弥生文化博物館 常設展示	新家遺跡：木製白ほか
等9件	計	253点

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的	出品資料
株式会社 ベストセラーズ	戦国武将の城 MOOK	大坂城跡：堀の発掘調査の様子
等43件	計	333点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成23年度は、下記の図書を出版した。

- 1 池島・福万寺遺跡12
- 2 池島・福万寺遺跡13
- 3 吹田操車場遺跡VII
- 4 大和川今池遺跡・天美西遺跡
- 5 瓜生堂遺跡4・岩田遺跡2・花屋敷遺跡3
- 6 蔀屋北遺跡II
- 7 大町遺跡III
- 8 和泉寺跡・府中遺跡
- 9 平尾遺跡
- 10 金岡遺跡
- 11 芹生谷遺跡II
- 12 狭山藩陣屋跡
- 13 ミヤケ北遺跡
- 14 府中遺跡・豊中遺跡・板原遺跡
- 15 奥井遺跡II・太井遺跡I 発掘調査概要
- 16 高木遺跡発掘調査概要

※6から16については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成23年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1,969冊

9. 保存処理事業

(1) 平成23年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	400点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	800点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	250点
下田遺跡	木製品	整理・点検	150点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	200点
大坂城Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD処理	1,500点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD処理	150点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
若江北遺跡	木製品	PEG-FD処理	70点
私部南遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	120点
讃良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	50点
大坂城遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	800点
金龍寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	20点
有池遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	50点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	300点
並松町遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	20点
讃良郡条里遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
私部南遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
禁野本町遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
有池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ3箱
池島福万寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 50点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米つくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザ（最新情報コーナー）展示替

「府中遺跡の縄文土器」

平成23年5月14日（火）～11月11日（土）（期間：182日間）

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示。

2. 特展企画展事業

(1) 春季企画展「河内のムラ物語 池島・福万寺遺跡の3500年」

《入館者数：1,864人》

ア. 開催概要 池島・福万寺遺跡は、弥生時代前期にはいち早く稲作を取り入れて以来、現代に至るまでたび重なる洪水を克服しながら水田耕作が営まれてきた。本展では、20年以上にわたる農耕具をはじめ、彩文のある木器や柿経などの出土資料をもとに洪水とともに生きた人びとの軌跡をたどった。

イ. 開催期間 平成23年5月21日（土）～7月3日（日） 会期：34日間

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

5月22日（日）、6月11日（土）、6月25日（土）《参加者数：合計73人》

(2) 夏季特別展「豊饒をもたらす響き 銅鐸」

《入館者数：3,904人》

ア. 開催概要 銅鐸は、稲作の伝来から始まった弥生時代において、古くより作られ、稲作で生きる人びとの社会の成熟とともに、その姿や大きさを変えながら祭りの道具として使われていた。古墳時代のはじまりとともに姿を消した銅鐸は、弥生時代に生きた弥生人の思いを伝える弥生文化のシンボルであり、本展では、弥生時代前期末から中期後半を中心に銅鐸とそれに関する資料を展示し、弥生人が銅鐸に託した想いについて探った。

イ. 開始期間 平成23年7月16日（土）～9月11日（日） 会期：50日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

7月16日（土）、7月23日（土）、7月31日（土）、8月7日（日）、8月14日（日）、8月27日（土）、

9月11日(日)

《参加者数：合計188人》

(3) 秋季特別展「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」 《入館者数：11,893人》

ア. 開催概要 山口県土井ヶ浜遺跡で見つかった弥生人の骨は、朝鮮半島からの渡来者と縄文人との関連をものがたり、弥生時代のはじまりについての研究をうながす契機となった。本展では、土井ヶ浜遺跡を中心に、響灘周辺の遺跡の最新資料をもとに、弥生時代のはじまりと彼らを取りまく社会に迫った。

イ. 開催期間 平成23年9月23日(金・祝)～11月23日(水・祝) 会期：53日間

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般600円(480円) 65歳以上および高校大学生400円(320円)

()内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録

カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

9月23日(金・祝)、10月20日(木)、10月30日(日)、11月13日(日)

《参加者数：234人》

(4) 冬季企画展Ⅰ「子規の叔父(加藤拓川)が残した絵葉書ー明治を生きた外交官の足跡」

《入館者数：4,086人》

ア. 開催概要 外交官である加藤拓川が、甥の正岡子規や秋山好古、真之兄弟、西園寺公望など、多彩な人物との交流や時代の様子を描いた絵葉書をもとに、小説「坂の上の雲」に表現された明治時代を身近に感じてもらう展示を行なった。

イ. 開催期間 平成23年12月3日(土)～平成24年1月25日(日) 会期：42日間

ウ. 場所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

12月3日(土)、12月17日(土)、1月14日(土)

《参加者：合計124人》

(5) 冬季企画展Ⅱ「とんぼ玉100人展ーガラスの中の夢幻ー」

《入館者数：9,354人》

ア. 開催概要 エジプトやメソポタミア地方から中国を経て、弥生時代に日本に伝わってきたとんぼ玉が、小さな球体の中に繰り広げる世界は、夢幻そのもの。その逸品を現代とんぼ玉作家の作品を全国から公募し、展示した。

イ. 開催期間 平成24年2月4日(土)～3月20日(火・祝) 会期：39日間

ウ. 場所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 製作実演・体験

製作実演 2月26日(日)、3月3日(土)、3月11日(日)

《参加者数：合計501人》

製作体験 2月12日(日)、2月18日(土)、3月17日(土)

《参加者数：合計105人》

3. その他展示事業

春季企画展示『創作展 いずみ』

《入館者数：11,276人》

ア. 開催概要 地元和泉市文化協会の美術11部門（押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、南画、日本画、俳画、洋画の粋を集めた展示を行なった。

イ. 開催期間 平成23年4月1日（金）～5月8日（日）

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）

（ ）内は団体割引料金

4. 講演会事業

(1) 春季企画展関連

・考古学セミナー

5月22日（日）「弥生のムラの物語」「古墳のムラの物語」

《参加者数：79人》

6月11日（土）「ムラの地形の変化」「ムラの環境の変化」

《参加者数：87人》

6月25日（土）「ムラの祈り」

《参加者数：121人》

(2) 夏季企画展関連

① 特別講演会

7月16日（土）「銅鐸とは何か」 水野正好（大阪府文化財センター理事長）《参加者数：96人》

② 考古学セミナー

7月31日（日）「銅鐸の出現と展開」 難波洋三氏（奈良文化財研究所）《参加者数：150人》

8月7日（日）「銅鐸に描かれた世界」 春成秀爾氏（国立歴史民俗博物館）《参加者数：137人》

8月14日（日）「銅鐸を発掘した人々の語り」

水野正好（大阪府文化財センター理事長）

藤沢真依（大阪府教育委員会）

《参加者数：137人》

9月11日（日）「弥生時代祭祀と銅鐸」 金関 恕（府立弥生文化博物館館長）《参加者数：262人》

③ ジョイントセミナー

8月27日（土）「大岩山銅鐸から見えてくるもの」

鈴木康二氏（安土城博物館）

《参加者数：136人》

(3) 秋季特別展関連

① 考古学セミナー

9月23日（金・祝）「人骨から弥生人ルーツをさぐる」

土井ヶ浜人類学ミュージアム 松下孝幸氏

《参加者数：214人》

10月30日（日）「長門豊浦の地—女王国の門戸—」

水野正好（大阪府文化財センター理事長）

《参加者数：142人》

11月13日（日）「響灘沿岸に眠る弥生人」

乗安和二氏（山口県埋蔵文化財所長）

《参加者数：165人》

② 記念シンポジウム

11月23日(金・祝)「弥生文化のはじまり」 《参加者数：407人》

(4) 冬季企画展Ⅰ

① 講演会

11月13日(土)「絵はがき事始め」 生田 誠 (絵葉書研究家) 《参加者数：43人》

12月17日(土)「拓川と明治の人びと」 正岡 明 (正岡子規研究所) 《参加者数：130人》

1月14日(土)「拓川と子規」 和田克司 (大阪成蹊短期大学名誉教授) 《参加者数：143人》

1月28日(土)「拓川と関西財界人」 大塚 融 (経済史研究家) 《参加者数：95人》

② 古代史発掘—この大阪(3回シリーズ講演会)

1月15日(日)「弥生水田の始まりと展開」
江浦 洋 (大阪府文化財センター) 《参加者数：65人》

1月24日(火)「発掘された水田と畑のまつり」
水野正好 (大阪府文化財センター理事長) 《参加者数：67人》

1月29日(日)「旧大阪府庁跡の調査」
市村慎太郎 (大阪府文化財センター) 《参加者数：32人》

(5) 冬季企画展Ⅱ

① 講演会

2月1日(水)「高齢者大学自然文化を楽しむ科(古代社会)」
正岡大実 (大阪府文化財センター) 《参加者数：44人》

② 弥生プラザ講演会

2月4日(土)「八雲遺跡の石器—入門!弥生石器の見方—」
西口陽一 (大阪府教育委員会) 《参加者数：27人》

(6) 春の連続講演会

① 3月24日(土)「年輪からここまでわかった弥生の年代」
光谷拓実 (奈良文化財研究所) 《参加者数：95人》

② 3月25日(日)「描かれた弥生」(未広がり連続講演会を兼ねて)
水野正好 (大阪府文化財センター理事長) 《参加者数：97人》

③ 3月26日(月)「3世紀の頃の倭と韓半島」
藤田憲司 (元近つ飛鳥博物館副館長) 《参加者数：137人》

④ 3月27日(火)「弥生時代の生活を復原してみよう」
深澤芳樹 (奈良文化財研究所) 《参加者数：73人》

⑤ 3月28日(水)「ラオスの少数民族の村から弥生文化を想う」
松井 章 (奈良文化財研究所) 《参加者数：77人》

⑥ 3月29日(木)「木の鳥のさえざり」
金関 恕 (府立弥生文化博物館館長) 《参加者数：97人》

⑦ 3月30日(金)「東アジアにおける穀物の伝わり」
佐藤洋一郎 (総合地球環境学研究所) 《参加者数：96人》

⑧ 3月31日(土) 「高地性集落研究の最前線」

森岡秀人(芦屋市教育委員会)

《参加者数:112人》

8回 参加者数 計 784人

(7) 末広りの連続講演会(1月~3月 8回シリーズ講師:水野正好:大阪府文化財センター理事長)

① 1月31日(火) 「風土記から(弥生時代)をみる」

《参加者数:56人》

② 2月9日(木) 「古代日本の国家と外交」

《参加者数:78人》

③ 2月28日(火) 「道昭和尚と救済—その考古学」

《参加者数:86人》

④ 3月7日(水) 「行基菩薩と救済—その考古学」

《参加者数:95人》

⑤ 3月13日(土) 「重源上人と救済—その考古学」

《参加者数:93人》

⑥ 3月20日(木) 「叡尊上人と救済—その考古学」

《参加者数:92人》

⑦ 3月25日(木) 「描かれた弥生」

《参加者数:97人》

⑧ 3月31日(木) 「池上曾根遺跡と弥生文化博物館」

《参加者数:98人》

8回 参加者数 計 695人

(8) 弥生時代入門講座(近畿弥生の会との共催)

① 6月16日(土) 「遺跡・遺構から考える弥生時代」

伊藤淳史(京都大学文化財総合研究センター)

《参加者数:97人》

② 8月20日(土) 「発掘調査の方法—和泉市内の事例から—」

土屋みずほ(大阪府教育委員会)

《参加者数:76人》

③ 10月20日(土) 「大和の弥生遺跡を考古学的に観る」

池田保信(天理市教育委員会)

《参加者数:76人》

④ 12月3日(土) 「簾状文がとりもつ縁—弥生時代中期の泉州と中河内—」

浜田延充(寝屋川市教育委員会)

《参加者数:55人》

⑤ 2月11日(土) 「韓半島と弥生時代の近畿」

川上洋一(奈良県立橿原考古学研究所)

《参加者数:139人》

5回 参加者数 計 442人

(9) 学芸員連続講座 考古学から考える日本と世界の食文化 8回シリーズ

① 2月3日(金) 「ユダヤ人の食生活—イスラエル発掘調査の体験から—」

金関 恕(府立弥生文化博物館 館長)

《参加者数:51人》

② 2月7日(火) 「コメ作りがはじまった頃の大坂」

三好孝一(府立弥生文化博物館 副館長)

《参加者数:72人》

③ 2月10日(金) 「古代北海道オホーツク海沿岸の食文化」

塚本浩司(府立弥生文化博物館 学芸員)

《参加者数:60人》

④ 2月14日(火) 「出土遺物からみる食文化」

正岡大実(府立弥生文化博物館 学芸員)

《参加者数:59人》

⑤ 2月17日(金) 「池上曾根遺跡の台所事情」

角南なつみ(府立弥生文化博物館 学芸員)

《参加者数:80人》

⑥ 2月21日(火) 「いま[石鍋]がアツい!—長崎から北へ、南へ—」

- 柴田妃三光 (府立弥生文化博物館 学芸員) <<参加者数: 57人>>
- ⑦ 2月24日(金) 「中米食文化をささえたもの」
- 木野戸直 (府立弥生文化博物館 学芸員) <<参加者数: 65人>>
- ⑧ 2月29日(金) 「古代日本の食はいかに東アジアの影響を受けたか」
- 水野正好 (大阪府文化財センター理事長) <<参加者数: 115人>>
- 8回 参加者数 計 559人

(10) その他

- ① 滋京阪連携歴史講演会 (折る・作る・運ぶの考古学)
- ・ 5月22日(日) 「地域のいのりー山あいの小さなお堂からー」 <<参加者数: 61人>>
 - ・ 6月19日(日) 「舶来旋風ー金色に飾る装身具ー」
「縄文人のエコロジーとエコノミー (関西縄文人の原型を探る)」
「弥生人のものづくりー人はいかに木を利用してきたかー」 <<参加者数: 58人>>
- ② 滋賀・大阪連携企画ジョイントセミナー (滋賀県立安土城考古博物館との連携)
- ・ 6月5日(日) 「豊饒をもたらす響きー銅鐸・弥生時代中期社会の一側面ー」 <<参加者数: 46人>>
 - ・ 7月23日(土) 「府中遺跡の縄文土器ー入門! 縄文土器の見方」
大野 薫 (大阪府教育委員会) <<参加者数: 63人>>
 - ・ 1月21日(土) 「貝は語る」 天下の台所 大坂 魚食文化の歴史を探る
(大阪府環境農林水産総合研究所との連携) <<参加者数: 60人>>
- ③ 四条畷市立公民館平成 23 年度歴史講座 (考古学から見る歴史)
- ・ 6月14日(木) 「入門・文化財探査」 <<参加者数: 31人>>
 - ・ 7月26日(木) 「史跡・公園見学 豊饒をもたらす響き 銅鐸展時解説」 <<参加者数: 27人>>

5. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

運営委員: 安井柁雄 (ヴァイオリン)・稲本 直 (コンサート企画)・太田善照 (社会教育)・田中寛治 (社会教育)

- 5月8日(日) フルートとピアノ 珠玉の名曲たち <<参加者数: 289人>>
竹内あすか (フルート) 小濱加奈子 (ピアノ)
- 5月15日(日) 世界を旅するピアノ名曲リサイタル <<参加者数: 207人>>
塩見貴子 (ピアノ)
- 5月29日(日) Le monde irise~虹色の世界~ <<参加者数: 123人>>

Piano duo Enjoue : 鈴木彰子・西山亜弓 (ピアノ)

- 6月12日(日) 水面に歌う～旅と憧れの調べ～ 《参加者数:239人》
笹山晶子(ソプラノ)・岡本篤子(メゾソプラノ)・橋本久美子(ホルン)・岡村星見
(作曲:ピアノ)・黒田千賀子(ホルン)
- 6月26日(日) 水無月コンサート～ピアノと木管の饗宴～ 《参加者数:194人》
ぴあのごっこ:赤山ひろの・畑ヶ中みゆき(ピアノデュオ)
- 7月10日(日) 19世紀に活躍したロマン派の作曲家たちにのせて～ 《参加者数:166人》
宇賀治和子(ピアノ)
- 7月24日(日) 癒し音たまたま箱～風に乗って～ 《参加者数:249人》
井谷清子(カリバン)・高橋公世(オカリナ)・堀内徹三(チェロ)・
浅野昭二(パーカッション)
- 7月30日(日) SOUVENIR～井坂あゆみ・北住里恵デュオコンサート～ 《参加者数:186人》
井坂あゆみ(ピアノ)・北住里恵(フルート)
- 8月21日(日) 音の情景 《参加者数:204人》
大淵雅子(ピアノ)
- 9月4日(日) A la carte du Reve 《参加者数:191人》
Reve:藤田真優(フルート)・中塚真紀(ヴァイオリン)・出口頼子(ピアノ)
- 9月10日(日) 黒人音楽ブルースの歴史をたどる 《参加者数:269人》
～ビートルズもビヨンセも、すべてはここから始まった
ORG. PROJECT:野田充有(ピアノ)・篠原聡(ギター)・前川和生(ドラム)
- 9月25日(日) 秋風と虹の音色にのせて 《参加者数:204人》
上畑藍子、大嶋奈央子、瀧川あづさ、田仲真弓、吉岡奈美(ソプラノ)・秋本久美(ピアノ)
- 10月9日(日) ～光と愛と水の戯れ～クラシックピアニスト藤井輝彦の世界 《参加者数:192人》
藤井輝彦(ピアノ)
- 10月29日(土) Piano Duo Recital～ピアノソロと連弾で綴る秋の調べ 《参加者数:173人》
福島聖子(ピアノ) 榎並厚子(ソプラノ)
- 11月6日(日) ピアノとともに☆爽やかに、楽しいひとときを 《参加者数:129人》
もりのくるみ(ピアノ)
- 11月20日(日) ヘンデルとグレーテル～オペラで楽しむグリム童話～ 《参加者数:247人》
北井春花・高木未知子・仁田多恵(ソプラノ)、松田恵美(メゾソプラノ)・高垣節(ピアノ)
- 12月4日(日) 音のたまたまばこ 《参加者数:188人》
藤井朋子(ソプラノ)・中本吉啓(クラリネット)・石田真由(ピアノ)
- 12月18日(日) クリスマスお楽しみコンサート 《参加者数:229人》
- 1月8日(日) やよい新春コンサート～煌くピアノの調べ～ 《参加者数:264人》
大槻知世・野崎沙織(ピアノ)
- 1月22日(日) 音楽の泉～きらめく音の戯れ～ 《参加者数:298人》
テオフィール室内合奏団:辻合佑璃(フルート)・田久保友妃(ヴァイオリン)・古川真也

6. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しをおこなうことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説をおこない、展示室での学習を支援した。 <<入館者数：10,545人・116校>>

- <堺市>城山台小学校、原山台小学校、竹城台小学校、三国丘小学校、百舌鳥小学校、西百舌鳥小学校、浅香山小学校、茶山台小学校、新浅香山庁学校、錦小学校、安井小学校、福泉小学校、上野芝小学校、浜寺昭和小学校、英彰小学校、鳳小学校、東浅香山小学校、高倉台小学校、深井小学校、日置荘小学校、日置荘西小学校、久世小学校、福泉上小学校、庭代台小学校、大阪府立聴覚支援学校
- <和泉市>国府小学校、光明台北小学校、立光明台南小学校、立信太小学校、幸小学校、葦部小学校、和氣小学校、北松尾小学校、南松尾小学校、横山小学校、青葉はつが野小学校、黒鳥小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、いぶき野小学校、鶴山台第1・2幼稚園、芦部・国府第2幼稚園
- <泉大津>上条小学校、旭小学校、浜小学校、条東小学校、立楠小学校、穴師小学校
- <高石市>高陽小学校、取石小学校、羽衣小学校、加茂小学校、清高小学校、私立羽衣学園中学校
- <忠岡町>忠岡小学校、東忠岡小学校<岸和田市>新条小学校、中央小学校、太田小学校、東葛城小学校、旭小学校、八木南小学校
- <貝塚市>二色小学校、北小学校
- <泉南市>新家東小学校
- <泉佐野市>北中学校、大木小学校
- <大阪市>遠里小野小学校、城山台小学校、苅田小学校、生野小学校、新平野小学校、弁天小学校、喜連西小学校、佃小学校、宮原小学校、安立小学校、深江小学校、梅香小学校、玉出小学校、北津守小学校、天王寺小学校、大開小学校、千本小学校、依羅小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉川小学校、今川小学校、上町小学校、大阪教育大学附属小学校、阪南中学校、私立建国小学校、大阪府立生野聴覚支援学校、大阪市立聴覚特別支援学校、総合教育文化学院ジェネカ天王寺校
- <東大阪市>加納小学校、長瀬小学校<松原市>松原小学校、松原南小学校、天美南小学校、松原中学校
- <八尾市>刑部小学校、美園小学校
- <守口市>下島小学校、第三学校夜間学級
- <枚方市>津田小学校、東香里小学校
- <和歌山市>喜志小学校、名草小学校、中ノ島小学校、砂山小学校、有功小学校、紀伊小学校、宮北小学校、智弁学園和歌山小学校
- <橋本市>柱本小学校、城山小学校、紀見小学校、清水小学校
- <伊丹市>鴻池小学校

- ・小中学生団体の利用促進のため小学校校長会、中学校校長会、PTA協議会等に見学説明会を実施した。

6月9日(木)、6月10日(金)、6月13日(月)、6月15日(水)、6月28日(火)の5日間

8回開催 <<参加者数：498人>>

7月1日(金)、7月5日(火)、7月6日(水)、7月8日(金)、7月11日(月)の5日間

7回開催 《参加者数：170人》

(2) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《利用者数：5,938人・164回》

(3) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業をおこなった。

《実績：3,735人・93回》

<堺市>竹城台小学校、原山台小学校、深井小学校、北八下小学校、南八下小学校、三原台小学校、土師小学校、錦綾小学校、赤坂台小学校、日置荘西小学校

<富田林市>高辺台小学校

<泉大津市>戎小学校、楠小学校、浜小学校

<岸和田市>旭小学校<岬町>深日小学校

<大阪市>千本小学校、日吉小学校、築港小学校、栄小学校、苅田南小学校、淀川小学校、玉出小学校

<枚方市>藤阪小学校、津田小学校、長尾小学校

<豊中市>南桜井谷小学校

<八尾市>刑部小学校、美園小学校亀井小学校

<松原市>天美南小学校、松原小学校

<羽曳野市>高鷲小学校、高鷲北小学校、古市南小学校、白鳥小学校、西浦小学校、丹比小学校、羽生小学校、羽曳野が丘小学校、丹比幼稚園

<和歌山市>宮北小学校、大阪府立伯太高等学校、大阪府立成城高等学校

<その他>NPO法人大阪府高齢者大学校、

(4) 博学連携授業

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーをおこなったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

《参加者数：157人 小学校3校・高校5校・大学校1校》

5月28日(土) 桃山学院大学見学授業(学芸員資格取得過程)	8人
6月8日(水) 泉大津市立条東小学校歴史クラブ体験学習	14人
6月22日(水) 泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	30人
7月2日(土) 和泉市立池上小学校放課後土曜講座(5~6年生)	22人
7月13日(水) 大阪府立成美高校歴史体験学習	13人
7月21日(木)~23日(土)、26日(火) 大阪府立和泉総合高校インターシップ	2人
7月29日(金)・8月1日(日) 大阪府立今宮高校夏季集中考古学入門講座	7人
7月20日(水)~8月31日(日) 大阪府立伯太高校体験学習	19人
7月20日(水)~8月31日(日) 大阪府立登美丘高校体験学習	42人

(5) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月27日(水)・28日(木) 奈良大学通信教育博物館実習	49人
8月2日(火)~6日(土) 博物館実習(学芸員資格取得過程)	12大学・23人

(6) 中学生の職場体験学習

7校から28名を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

9月29日(木)・30日(金)	高石市立高石中学校	3人
10月27日(木)・28日(金)	高石市立取石中学校	2人
11月8日(火)・9日(水)	和泉市立信太中学校	3人
11月16日(水)・17日(木)	郷荘中学校・忠岡中学校	6人
1月31日(火)	和泉市立石尾中学校	3人
2月1日(水)・2日(木)	和泉市立石尾中学校・泉大津市立清風中学校	6人
2月15日(水)	忠岡町立忠岡中学校	5人

(7) 教員研修の受け入れ

教員の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

《参加者数：100人・3団体》

7月29日(金)	和泉市小中学校事務職員部研修	49人
8月9日(火)～8月10日(水)	大阪府高校教員初任者研修	9人
12月6日(火)	高等学校初任者研修	42人

7. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

- ① 大阪府立狭山池博物館 《入館者数：7,752人》
 - ア. 開催期間 4月25日(月)～5月8日(日)
 - イ. 備考 「卑弥呼の食卓」
- ② 池上曾根弥生学習館 《入館者数：17,510人》
 - ア. 開催期間 4月1日(木)～3月31日(土)
 - イ. 備考 当館所蔵の資料を展示
- ③ 池上曾根弥生情報館 《入館者数：116,353人》
 - ア. 開催期間 4月1日(木)～3月31日(土)
 - イ. 備考 当館所蔵の資料を展示
- ④ 泉大津市織編館 《入館者数：551人》
 - ア. 開催期間 9月15日(木)～10月25日(火)
 - イ. 備考 第47回特別展「弥生以降の池上曾根」
- ⑤ NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会(LIC羽曳野) 《入館者数：434人》
 - ア. 開催期間 2月26日(日)
 - イ. 備考 古代史フォーラム2012 百舌鳥・古市古墳群世界遺産をめざす二つの響き
- ⑥ NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会(羽曳野市役所ロビー) 《入館者数：200人》
 - ア. 開催期間 3月11日(日)～3月21日(水)
 - イ. 備考 弥生文化博物館を紹介するパネルを展示

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

- ① 富福亭 in 大阪府立弥生文化博物館 出前寄席 《参加者数：30人》
ア. 開催日 4月29日(金・祝)
イ. 内容 「出前寄席」
ウ. 連携先 富田林落語サークル富福亭
- ② ふれあいまつり 《参加者数：62人》
ア. 開催日 5月5日(木祝)
イ. 内容 「土器パズル」
ウ. 連携先 池上曾根弥生学習館
- ③ 江子島現地公開 《参加者数：50人》
ア. 開催日 7月30日(土)
イ. 内容 「土器パズル」
ウ. 連携先 大阪府文化財センター
- ④ 子育てコミュニティールーム コトコトステージ「親子で歴史を学ぶ」 《参加者数：75人》
ア. 開催日 8月11日(木)
イ. 内容 「銅鐸に色を塗ろう」
ウ. 連携先 西宮阪急百貨店
- ⑤ WTC出張体験 《参加者数：177人》
ア. 開催日 8月19日(金)
イ. 内容 「出張体験」 《参加者数：60人》
ウ. 連携先 大阪府咲洲庁舎
- ⑥ 第3回泉州弥生の郷まつり 《参加者数：49人》
ア. 開催日 8月27日(金)
イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 連携先 泉州弥生の郷まつり実行委員会
- ⑦ 音☆楽市 《参加者数：81人》
ア. 開催日 9月11日(日)・10月2日(日)
イ. 内容 「土器パズル」
ウ. 連携先 和泉市文化財活性化推進実行委員会
- ⑧ 絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展 《入館者数：24,494人》
ア. 開催日 9月13日(火)～9月25日(日)
イ. 内容 当館絵画コンテスト優秀作品の出張展示
ウ. 連携先 大阪府立中央図書館
- ⑨ 大阪府立中央図書館 《参加者数：211人》
ア. 開催日 9月17日(土)・24日(土)
イ. 内容 「土器パズル」

⑭ 富田林市民ふれあいまつり

ア. 開催日 11月23日(水・祝)

イ. 内容 「土器パズル」

ウ. 連携先 富田林市民ふれあいまつり実行委員会

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説をおこなった。

8月7日(日) 大東・四条畷の歴史を考える市民講座 「北河内縦断発掘—明らかにされた地域の歴史像—」	《参加者数:52人》
10月1日(土) よみうり伊丹文化センター 「本州西端の弥生文化—響灘沿岸を中心に—」	《参加者数:13人》
10月29日(土) 泉大津市条東小学校PTA総会講演 「親子で学ぼう池上曾根遺跡—地域に広がる弥生遺跡—」	《参加者数:68人》
1月21日(土) 東大阪埋蔵文化財センター歴史講演会 「銅鐸群と中期弥生社会」	《参加者数:78人》
1月25日(水) 高齢者大学自然文化を楽しむ科 「古代人の生活」	《参加者数:55人》

8. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップや遺跡巡りツアー等をおこなった。

5月1日(日) GW Let's Try! 「犬の土人形を作ろう」	《参加者数:75人》
「狩人きぶん」	《参加者数:85人》
「土器パズル」	《参加者数:52人》
5月2日(月) GW Let's Try! 「土器パズル」	《参加者数:17人》
5月3日(火・祝) GW Let's Try! 「石の道具をつくってみよう」	《参加者数:74人》
「狩人きぶん」	《参加者数:106人》
「土器パズル」	《参加者数:32人》
5月4日(水・祝) GW Let's Try! 「弥生時代の米つき体験」	《参加者数:17人》
「土器パズル」	《参加者数:40人》
5月5日(水・祝) GW Let's Try! 「こいのぼりをつくろう」	《参加者数:149人》
「火おこし選手権」	《参加者数:207人》
8月3日(水) 夏休み Let's Try! 「縄文ポシェット」	《参加者数:51人》
8月7日(日) 夏休み計量教室 「計量クイズ」	《参加者数:85人》
8月7日(日) 健康器具体験	《参加者数:47人》
8月7日(日) 夏休み Let's Try! 「棒はかりをつくろう」	《参加者数:52人》
8月10日(水) 夏休み Let's Try! 「サヌカイトで風鈴をつくろう」	《参加者数:140人》

8月14日(日) 夏休み Let's Try! 「火おこし体験」	《参加者数:53人》
8月16日(火) 夏休み Let's Try! 「手軽にプラネタリウム」	《参加者数:50人》
10月1日(土) 「火おこし&弥生ストラップ作り」	《参加者数:27人》
10月2日(土) 「粘土 De 文様 (貝 縄文①)」	《参加者数:24人》
10月10日(月・祝) 「探れ!キミの顔」	《参加者数:6人》
10月16日(日) 「粘土 De 文様 (縄文②)」	《参加者数:15人》
11月3日(木・祝) 2011秋の陣「探れ!キミの顔」	《参加者数:46人》
2011秋の陣「粘土 De 文様 (エノコログサ)」	《参加者数:57人》
2011秋の陣「カブトをつくろう!」	《参加者数:23人》
2011秋の陣「えんぴつこすってあらわれた」	《参加者数:51人》
11月12日(土) 関西文化の日「泥めんこをつくろう」	《参加者数:118人》
「棒はかりをつくって計量に挑戦!」	《参加者数:110人》
「計量クイズ」	《参加者数:280人》
「健康器具体験」	《参加者数:48人》
「家庭用計量器具無料診断」	《参加者数:11人》
「海渡くんをさがせ」	《参加者数:145人》
「土器パズル」	《参加者数:115人》
11月13日(日) 関西文化の日「火おこしに挑戦」	《参加者数:124人》
「棒はかりをつくって計量に挑戦!」	《参加者数:93人》
「計量クイズ」	《参加者数:241人》
「健康器具体験」	《参加者数:67人》
「家庭用計量器具無料診断」	《参加者数:13人》
「土器パズル」	《参加者数:128人》
11月27日(日) 2011秋の陣 「えんぴつこすってあらわれた」	《参加者数:12人》
12月11日(日) みんなで一緒に考古楽 「立版古をつくろう」	《参加者数:19人》
12月23日(金・祝) みんなで一緒に考古楽 「大すごろく大会」	《参加者数:21人》
1月5日(木) みんなで一緒に考古楽 「大すごろく大会」	《参加者数:35人》
3月24日(土) 弥生フェスティバル「めざせ考古学者のタマゴ」	《参加者数:67人》
「こんべいとうを作ってみよう」	《参加者数:30人》
3月25日(日) 弥生フェスティバル「探れ!キミの顔」	《参加者数:217人》
「はり絵をしよう」	《参加者数:297人》
「ガラス勾玉を作ろう」	《参加者数:424人》
「竪穴住居をたてよう」	《参加者数:120人》
「チリメンモンスターをさがせ」	《参加者数:47人》
3月26日(月) 弥生フェスティバル「紙すき体験」	《参加者数:57人》
「作って遊ぼうブンブンごま」	《参加者数:170人》
「縄文ポシエットを作ろう」	《参加者数:67人》

	「フェイスペイントで変身」	《参加者数:96人》
	「米、炊きはじめました〜」	《参加者数:58人》
3月27日(火) 弥生フェスティバル	「ガラス玉プレスレット」	《参加者数:72人》
	「はにわ貯金箱」	《参加者数:54人》
	「立版古を作ろう(竪穴住居編)」	《参加者数:62人》
	「金印つかって封をしよう」	《参加者数:160人》
	「米、炊きはじめました〜」	《参加者数:61人》
3月28日(水) 弥生フェスティバル	「ガラス玉プレスレット」	《参加者数:71人》
	「はにわ貯金箱」	《参加者数:68人》
	「銅鐸を作ろう」	《参加者数:39人》
	「めざせ考古学者のタマゴ」	《参加者数:150人》
	「フェイスペイントで変身」	《参加者数:82人》
3月29日(木) 弥生フェスティバル	「銅鐸を作ろう」	《参加者数:39人》
	「はり絵をしよう」	《参加者数:244人》
	「めざせ考古学者のタマゴ」	《参加者数:180人》
	「夜光貝でアクセサリを作ろう」	《参加者数:66人》
3月30日(金) 弥生フェスティバル	「立版古を作ろう(みのり編)」	《参加者数:77人》
	「FUN!DO!消しゴム」	《参加者数:160人》
	「金印つかって封をしよう」	《参加者数:93人》
	「狩人きぶん」	《参加者数:150人》
3月31日(土) 弥生フェスティバル	「チリメンモンスターをさがせ」	《参加者数:48人》
	「古代船ペーパークラフト」	《参加者数:133人》
	「ガラス勾玉を作ろう」	《参加者数:307人》
	「FUN!DO!消しゴム」	《参加者数:275人》

(2) こどもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽!2011」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「こどもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習をおこなった。

4月16日(土)	「石器を使ってみよう」	《参加者数:17人》
5月21日(土)	「弥生時代の米つき体験」	《参加者数:21人》
6月18日(土)	「石器を使ってみよう」	《参加者数:4人》
7月16日(土)	「弥生の火起し体験」	《参加者数:18人》
8月20日(土)	「弥生の火起し体験」	《参加者数:39人》
9月17日(土)	「狩人きぶん」	《参加者数:45人》
9月24日(土)	「探れ!キミの顔」	《参加者数:9人》
10月15日(土)	「弥生の脱穀・精白」	《参加者数:21人》
11月19日(土)	「石器体験」	《参加者数:22人》
12月17日(土)	「弥生の火起し体験」	《参加者数:17人》

1月21日(土)「ほんものの土器にふれてもよう」	《参加者数:24人》
2月18日(土)「作って飛ばそう鳥形紙飛行機」	《参加者数:43人》
3月10日(土)「弥生の火起し体験」	《参加者数:50人》

9. その他各種連携事業

(1) 企業との連携

① 株式会社国際交流サービス

講師派遣の要請をうけ、遺跡見学ツアーに当館学芸員が随行した。

11月9日(水)～11日(金)「山口県 史跡と考古の旅」 《参加者数:37人》

(2) 公共機関、大学、法人等との連携

① 和泉市教育委員会

11月19日(土) 展示デザインの視点～池上曾根遺跡を”テンジ”する～ 《参加者数:30人》

3月18日(日) 池上曾根遺跡 現地説明 《参加者数:150人》

② 泉大津市教育委員会

6月11日(土) 弥生以後の池上曾根を歩く「二田物部氏ゆかりの地を歩く」 《参加者数:10人》

6月25日(土) 弥生以後の池上曾根を歩く「都びとゆかりの地を歩く」 《参加者数:24人》

7月 9日(土) 弥生以後の池上曾根を歩く「中世武士ゆかりの地を歩く」 《参加者数:22人》

11月19日(土) 展示デザインの視点～池上曾根遺跡を”テンジ”する～ 《参加者数:30人》

③ 泉大津市産業政策課

11月23日(水・祝)～29日(火) 貫頭衣コンテスト 《参加者数:375人》

④ 和泉市文化財活性化委員会

9月11日(日) 音☆楽市 土器パズル

10月 2日(日) 音☆楽市 土器パズル

10月29日(土)～30日(日) 高校軽音フェスタ in 弥生の社～悠久の時間を奏でて～

《参加者数:247人》

⑤ 辰馬考古資料館

禄水苑ウォーク

《参加者数:14人》

⑥ 大阪府計量検定所

11月12日(土)～13日(日) 計量コーナー

《参加者数:63人》

⑦ 松山市子規記念博物館

12月17日(土)～1月22日(日) 特別展「なじみ集」広報連携(弥生博冬季企画展)

⑧ 太子町立竹之内街道資料館

3月18日(日) 太子町立竹之内街道資料館

(3) 史跡と一体となった事業

① 泉州弥生の郷まつり実行委員会 第3回 泉州弥生の郷まつり

8月27日(金)

② 和泉市商工会 商工まつり

10月22日(土)～23日(日)

《参加者数:351人》

③ JA いずみの農業まつり

11月20日(日)

《参加者数:204人》

(4) 研究会等の誘致

① 全日本博物館学会 総会

11月20日(日)

《参加者数:42人》

10. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間 平成24年3月24日(土)～31日(土) 8日間

《入館者数:9,232人》

イ. 入館料 無料

ウ. イベント 前掲 ※8.(1)参照

(2) 要覧の作成

『平成22年度弥生文化博物館要覧』(平成24年3月28日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語)を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート(8種)を用意し、ホームページからダウンロードできるようにしてご利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート(7種)、およびボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞五大紙やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供をおこなった。

《年間アクセス件数：340,180件》

11. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 《資料24件・207点／写真73件・127点》

12. 研究事業

海外の研究者との学術交流

① Mu Mra Zan 6月21日（火） ミャンマー歴史民俗博物館

② 高皎敬・高慶華・高永萬・洪辰淑・金石出・金英淑 7月8日（金） 濟州・日本神話交流会

13. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

14. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営をおこなうため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイド（常設展示・特別展示）と英語版音声ガイド（常設展示）を用意し、無料で貸し出した。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しをおこなった。 《貸出件数：64件》

(4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ① 特別展示室系統の排風ファン消音工事
- ② 第一展示室、特別展示室におけるLEDスポットライトの導入
- ③ 第1展示室のモニター観賞時に天井部からの照明を防ぐための幌の設置
- ④ 第1展示室に設置している大型プロジェクターのランプの改修
- ⑤ 体験ゾーンで使用している土ブロックをEVA樹脂製に更新
- ⑥ 体験ゾーンのコンクリートの掘り込み部分にEVA樹脂製のセーフティーガードを設置
- ⑦ 見学者の安全を確保するため、卑弥呼の館にアクリルパーテーションを設置
- ⑧ 特別展示室の展示ケース2台に免震台を導入
- ⑨ 特別展示室の展示品の細部を観賞しやすくするためミニマグライトを設置
- ⑩ 竪穴住居（展示室内）の囲炉裏の火をモールからランプに更新

- ⑪ コンサート時に使用するOAシステムの機能を向上させるため、ミキサーを購入
- ⑫ 国旗、府旗、館旗を掲揚するためのポールを改修
- ⑬ 展示品を画像で観賞できるように iPad を導入。
- ⑭ 地震速報受信装置の導入。
- ⑮ エントランス北側ステンレス製パーテーションの撤去。

15. 自主事業

ミュージアムショップの整備

オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

16. 入館者数および入館料収入

(平成23年度)

区 分	入 館 者 数			入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	有料	無料	合計		
常 設 展	1,030	12,984	14,014	615,860	51
割合 (%)	1.6	20.5	22.2		
春季企画展示	1,139	9,597	10,736	288,120	34
割合 (%)	1.8	15.2	17.0		
春季企画展	1,620	4,345	5,965	416,400	38
割合 (%)	2.6	6.9	9.4		
夏季特別展	3,223	3,925	7,175	853,420	50
割合 (%)	5.1	6.2	11.3		
秋季特別展	2,102	9,791	11,893	710,320	53
割合 (%)	3.3	15.5	18.8		
冬期企画展Ⅰ	1,718	2,368	4,086	466,760	42
割合 (%)	2.7	3.7	6.5		
冬期企画展Ⅱ	4,067	5,287	9,354	1,204,120	39
割合 (%)	6.4	8.4	14.8		
合 計	14,899	48,297	63,223	4,555,000	307
割合 (%)	23.6	76.4	100.0		

<年度比較>

平成22年度実績	58,413	4,953,420	303
平成21年度実績	49,738	6,272,760	304
平成20年度実績	45,717	4,276,000	303

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 特展企画展事業

(1) 春季特別展「倭人と文字の出会い」

《総入館者数：25,567人、うち展示室：9,433人、展示室1日当たり165人》

ア. 開催趣旨 文字は「記録」としての重要性と共に、国家の形成や王権、そして支配と深く結びついた存在である。弥生時代から古墳時代、そして飛鳥時代にかけて、倭人たちがどのように文字を使い、記録してきたのか、文字記録によって明らかにされる倭人の歴史にスポットをあてた。

イ. 開催期間 平成23年4月23日(土)～6月26日(日)《開館日数57日》

ウ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

4月29日(土・祝)、5月4日(水・祝)、5月14日(土)、6月4日(土)、6月11日(土)

《参加者合計155人》

エ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

オ. 広報 朝日新聞社・文化庁の共催、堺市・太子町・太子町教育委員会・河南町・河南町教育委員会・近畿日本鉄道株式会社の後援名義をとり広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

カ. 開会式 4月23日(土)、地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

(2) 夏季企画展「動物大百科―出土品からさぐる動物とのかかわり―」

《総入館者数：12,776人、うち展示室：4,285人、展示室1日当たり97人》

ア. 開催趣旨 便利な機械が存在しなかった時代には、人と生き物の関わりは今より濃いものであった。生き物をあらわした品々、生き物を利用した道具、生き物を捕るための道具などをみていくことで、生き物をどのようにとらえていたのか考える。夏休み期間、歴史を学ぶ児童向けにわかりやすい展示を行った。

イ. 開催期間 平成23年7月16日(土)～9月4日(日)《開館日数44日》

ウ. ポスター・ちらし・招待券の作成配布

エ. 体験学習

こども勾玉づくり工房 7月24日(日)、8月6日(土)、8月28日(日)

《参加者合計412人》

こども博物館バックヤード探検ツアー 7月30日(土)、8月21日(日)

《参加者合計 57 人》

オ. 展示解説 7月18日(月・祝)、8月6日(土)、8月28日(日)

《参加者合計 29 人》

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 堺市・羽曳野市教育委員会・藤井寺市教育委員会・河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会から後援名義をとり、各小学校の生徒にチラシを配布できるように努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

(3) 秋季特別展「百舌鳥・古市の陵墓古墳」

《総入館者数：21,896人、うち展示室：9,423人、展示室1日当たり168人》

ア. 開催趣旨 平成22年10月、世界遺産国内暫定リストに追加記載することが決定した百舌鳥・古市古墳群は、世界的にみても有数の巨大墳墓で構成される国内最大の古墳群といえる。宮内庁所蔵資料を中心に百舌鳥・古市古墳群を探り、巨大古墳群の重要性を考える。

イ. 開催期間 平成23年10月1日(土)～12月4日(日)《開館日数56日》

ウ. 展示解説 特別展示室において展示解説を実施した。

10月2日(日)、10日(月・祝)、11月5日(土)、20日(日)、27日(日)

《参加者合計 176 人》

エ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

オ. 広報 産経新聞社、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会からは主催を、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議からは後援名義を、宮内庁書陵部からは特別協力をとり、広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

カ. 開会式 10月1日、地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

(4) 冬季特別展「歴史発掘 おおさか2011—大阪府発掘調査最新情報—」

《総入館者数：16,894人、うち展示室：4,618人、展示室1日当たり82人》

ア. 開催趣旨 大阪府には、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されている。こうした調査成果から遺跡を身近に感じ、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただく。特別展開催にあたっては、府内市町村の協力を得た。

イ. 開催期間 平成24年1月21日(土)～3月25日(日)《開館日数56日》

ウ. 展示解説 特別展示室において展示解説を実施した。

1月22日(日)、2月4日(土)・18日(土)、3月17日(土)

《参加者合計47人》

エ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

オ. 広報 河南町・河南町教育委員会・太子町・太子町教育委員会から後援名義をとり広報に努めた。また、近畿日本鉄道の各駅へポスターを掲示した。

2. 講演会事業

(1) 春季特別展関連

5月15日(日)「歌木簡の発見と日本語表記」栄原永遠男氏(大阪市立大学教授)《参加者176人》

5月22日(日)「古代刀剣の文字資料」水野正好(当センター理事長)《参加者154人》

5月29日(日)「古代日本の文字資料」東野治之氏(奈良大学教授)《参加者151人》

6月19日(日)「5世紀の刀剣銘文が語るもの」白石太一郎(当館館長)《参加者175人》

6月5日(日)【シンポジウム】「王権と鉄剣銘文—ワワケとムリテとは何者か?—」《参加者342人》

「埼玉稲荷山古墳の被葬者を考える—ワワケとは何者か?—」高橋一夫氏(前埼玉県立博物館館長)

「江田船山古墳の被葬者を考える—ムリテとは何者か?—」高木恭二氏(宇土市教育委員会)

「古代史からみたワワケとムリテ」和田 萃氏(京都教育大学名誉教授)

討論【司会/白石太一郎(当館館長)】

5月21日(土)土曜講座「堺市大野寺の土塔と文字瓦」近藤康司氏(堺市文化財課)

《参加者26人》

6月25日(土)第37回土曜講座「倭国における文字獲得の歴史」廣瀬時習(当館総括学芸員)

《参加者102人》

(2) 夏季企画展関連

8月7日(日)「犬と馬の考古学」宮崎泰史氏(大阪府教育委員会)《参加者60人》

8月21日(日)「馬はどうして日本列島にやって来たのか—騎馬民族征服王朝説をめぐって—」

白石太一郎(当館館長)《参加者165人》

7月23日(土)「夏季企画展をもっと知るには!—動物埴輪を中心に—」飯田浩光(当館学芸員)

《参加者23人》

(3) 秋季特別展関連

10月9日(日)「陵墓の調査とその成果—最近の事例より—」徳田誠志氏(宮内庁書陵部首席研究官)

《参加者243人》

11月6日(日)「古市・百舌鳥になぜ天皇陵が集中するのか」水野正好(当センター理事長)

《参加者297人》

11月13日(日)「百舌鳥・古市古墳群の形成過程が語るもの」白石太一郎(当館館長)

《参加者198人》

10月30日(日)研究報告会「仁徳陵古墳・応神陵古墳の実像をさぐる」《参加者197人》

【報告1】「仁徳天皇陵古墳前方部 石室、石棺とその遺物」

白神典之氏(堺市世界文化遺産推進室)

【報告2】「古代～近世の応神天皇陵古墳」白石太一郎(当館館長)

10月23日(日)第1回調査成果報告会「百舌鳥古墳群の最新調査成果」《参加者136人》

【報告1】「仁徳天皇陵と百舌鳥陵墓参考地の調査」清喜裕二氏(宮内庁書陵部)

【報告2】「ニサンザイ古墳と周辺の古墳－最近の調査成果から－」

内本勝彦氏(堺市文化財課)

11月23日(水・祝)第2回調査成果報告会「古市古墳群の最新調査」《参加者142人》

【報告1】「允恭天皇陵古墳周辺部の調査」上田睦氏(藤井寺市教育委員会)

【報告2】「応神天皇陵古墳周辺部の調査」井原稔氏(羽曳野市教育委員会)

10月22日(土)第41回土曜講座「陵墓古墳の埋葬施設と儀礼」森本徹(当館総括学芸員)

《参加者38人》

(4) 冬季特別展関連

2月5日(日)「津堂城山古墳の再検討」白石太一郎(当館館長)《参加者189人》

3月11日(日)「天平勝宝四年と明治七年の考古学－大仏開眼会と旧大阪府庁舎－」

水野正好氏(当センター理事長)《参加者102人》

1月28日(土)第1回おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－《参加者58人》

「羽曳野市古市鳥飼遺跡－出土した縄文土器について－」河内一浩氏(羽曳野市教育委員会)

「東大阪市馬場川遺跡－縄文時代後晩期の集落と墓地－」菅原章太氏(東大阪市教育委員会)

「摂津市明和池遺跡－弥生時代後期の集落跡－」西川麻野氏(摂津市教育委員会)

2月25日(土)第2回おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－《参加者71人》

「藤井寺市津堂城山古墳・野中宮山古墳」上田睦氏(藤井寺市教育委員会)

「富田林市畑ヶ田遺跡－土師器にこめたもの－」角南辰馬氏(富田林市教育委員会)

「和泉市和泉寺跡－古代寺院から出土した文字瓦－」土屋みづほ氏(大阪府教育委員会)

3月18日(日)第3回おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－《参加者44人》

(主催 当センター、大阪府教育委員会、財団法人大阪博物館協会大阪文化財研究所、大阪市教

育委員会)

「大阪市喜連東遺跡－発掘された4基の方墳－」黒田慶一氏（(財)大阪市博物館協会)

「泉佐野市安松田遺跡－東大寺鎌倉期再建用瓦の製作地－」三木弘氏（大阪府教育委員会)

「旧大阪府庁舎跡」市村慎太郎氏（当センター）

(5) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

継続して実施している博物館周辺の歴史を学ぶ基礎となる講座「入門講座」は、平成23年度より常設展示の各コーナーに特化した解説を展示室において行い、より多くの来館者に参加していただく機会をつくった。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。大阪府教育委員会、当センター、弥生文化博物館、府内市町村と連携した事業。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』－常設展示解説－」

第45回 5月8日（日）「仏教文化の開花」「文字の時代」市本芳三

第46回 6月12日（日）「古墳の終わりと墓」「倭の五王と渡来文化」森本 徹

第47回 7月9日（土）「竪穴式石室の世界」廣瀬時習

第48回 8月13日（土）「埴輪の世界」飯田浩光

第49回 9月10日（土）「開発と技術」廣瀬時習

第50回 10月8日（土）「一須賀古墳群を歩こう探ろう」飯田浩光

第51回 11月12日（土）「王と民衆」廣瀬時習

第52回 12月10日（土）「横穴式石室の世界」「石棺」「一須賀古墳群」小林千夏

第53回 2月10日（土）「大古墳の造営」「古墳造営のムラ」森本 徹

第54回 3月10日（土）「修羅」「現代科学」関本優美子

《参加者合計：322人、平均32人》

イ. 土曜講座 オーサカ発 調査研究最前線

第36回 5月21日（土）「堺市大野寺の土塔と文字瓦」

近藤康司氏（堺市文化財課）《参加者26人》

第37回 6月25日（土）「倭国における文字獲得の歴史」

廣瀬時習（当館総括学芸員）《参加者102人》

第38回 7月23日（土）「夏季企画展をもっと知るには－動物埴輪を中心に－」

飯田浩光（当館学芸員）《参加者23人》

第39回 8月27日（土）「安松田遺跡と東大寺瓦」

三木弘（大阪府教育委員会）《参加者18人》

第40回 9月24日（土）「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」

奥村茂輝（当センター）《参加者17人》

第41回 10月22日（土）「陵墓古墳の埋葬施設と儀礼」

森本徹（当館総括学芸員）《参加者38人》

第42回 11月26日（土）「藤の森古墳のガラス玉－これまでの調査成果と新資料か

ら－」阪田育功（大阪府教育委員会）《参加者35人》

第43回 12月24日（土）「櫛のうつりかわり」

関本優美子（当館学芸員）《参加者23人》

第44回 1月28日（土）冬季特別展 第1回おおさかを掘る発掘調査報告会

《参加者56人》

第45回 2月25日（土）冬季特別展 第2回おおさかを掘る発掘調査報告会

《参加者71人》

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」5月3日（火・祝）

博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。《参加者合計605人》

(2) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して、音楽会を開催し、親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場とした。地元高校生の軽音楽部の発表の場となり、他学校との交流の場とした。平成23年度より春と秋の2回実施に拡充した。

4月29日（金・祝）長野高校・上宮太子高校・阪南大学高校・金剛高校・藤井寺高校《参加者436人》

11月3日（木祝）金剛高校・河南高校・上の宮太子高校・阪南大学高校・長野高校《参加者327人》

(3) こども博物館バックヤード探検ツアー

小中学生およびその保護者を対象に、博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学

会を実施した。

7月30日(土)、8月21日(日)《参加者合計57人》

(4) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

5月5日(木・祝)《参加者11人》、12月3日(土)《参加者9人》

(5) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援する。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示を行った。

3月15日(4月1日～)～4月15日「人」服飾作家共同作品展《見学者5,887人》

4月16日～26日「花の絵展」大阪千代田短期大学生生涯学習センター植物画講座 大阪市退職教員ポタニカルアート教室《見学者3,386人》

4月28日～5月15日「第3回ふるさと俳画展」俳画彩美会による句と画のハーモニー《見学者7,801人》

5月29日～6月19日「二つの飛鳥」中島裕司の風景画展《見学者1,259人》

7月15日～9月4日「風雅の旅－松尾芭蕉 奥の細道－」《見学者580人》

9月7日～10月16日「三田崇博写真展 東日本大震災と遺産」《見学者9,154人》

11月22日～27日「MOA美術館 南河内児童作品展」《見学者3,846人》

1月14日～29日 太子町「親子で写生大会作品展」《見学者2,571人》

2月1日～3月1日「三田宗博写真展ユーラシア大陸世界遺産」《見学者5,260人》

3月17日～31日「第2回TO YOU 通友」大阪芸術大学通信教育部グループ《見学者7,159人》

(6) ボランティア活動・観光ボランティア等への支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業など幅広い分野への支援活動を行っていただいた。また、南河内地域の観光ボランティアへの研修の実施等、ガイド内容の充実を図るための支援活動を行った。

6月8日 古代出雲歴史博物館 ボランティアスタッフの会 視察研修 40人

7月16日 羽曳野市観光ガイドボランティア組織「史遊会」講演会 協力 39人

8月4日 いかるがアイス(法隆寺観光ガイド) 10人

11月5日 山口県文化財センターしらかべ学遊館 柳井支歴史の会勉強会 28人

4. 「市町村と連携する博物館」事業

(1) 連携展示事業

河南町、太子町、堺市、羽曳野市、藤井寺市等の地元市町村および教育委員会の共催・後援の協力を得た。特に冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

(2) スポット展示

大阪府内における発掘調査最新成果の展示公開を大阪府教育委員会、当財団の協力を得て適時実施した。

8月10日～9月11日 「安松田遺跡の調査成果－東大寺瓦－」(大阪府教育委員会)

《入場者数：1,582人》

9月17日～10月10日 「高宮遺跡の発掘調査成果」(当センター)

《入場者数：2,175人》

11月19日～12月4日 「藤の森古墳のガラス玉」(大阪府教育委員会)

《入場者数：2,761人》

(3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

ア. 広報誌 「広報かなん」、「富田林子どもインフォメーション」、「大阪府議会だより」《掲載合計件数11回》

イ. ミニコミ誌等 「ぱど」、「アサヒメイト」、「yomiっこ」等

《掲載合計件数61回》

ウ. 新聞等 《掲載合計件数136回》

エ. 有料広告 「秋季特別展」 読売新聞夕刊 秋の博物館・美術館特集 1回

「安藤忠雄氏講演会」 読売新聞朝刊 4回

(4) 史跡と一体となった事業の拡充

風土記の丘を多くの人に知っていただき、訪れていただくため、「桜まつり」を実施した。

3月31日(土)、(平成24年度4月1日(日))2日間

《3月31日 風土記の丘利用者数：252人、博物館入館者数：725人》

みなみかわち物産展、古代衣裳体験、ペーパーバッグづくり

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 出前授業

幼稚園、小学校、中学校、高校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努めた。

河南町立河内小学校・磯長小学校、富田林市立葛城中学校、羽曳野市立丹比小学校・古市小学校、大阪狭山市立東小学校、堺市立八田荘西小学校、大阪市立成育小学校・岸里小学校・柏里小学校、大東市立深野小学校、高石市羽衣学園中学校、岸和田市立光明小学校、奈良県香芝市智弁学園奈良カレッジ、府立懐風館高校・柴島高校・藤井寺支援学校、大阪教育大学、華頂短期大学他

《実施授業数：63回、対応生徒数：2,173人》

(2) 校外学習の受入れ

太子町立山田小学校、河南町立河内小学校・中村小学校・かなん幼稚園、羽曳野市立恵我之荘小学校、富田林市立向陽台小学校・新堂小学校・葛城中学校、堺市立上神谷小学校・茶山台小学校・さつき野小学校・八田荘西小学校、松原市立松原西小学校・松原東小学校・布忍小学校・天美小学校、千早赤坂村立小吹台小学校・赤阪小学校、岸和田市立城東小学校、高槻市立三箇牧小学校、大阪市立住吉商業高校・視覚障害支援学校、東大阪市立太平寺小学校、守口市立寺方小学校、四條畷市立楠木小学校、寝屋川市立木屋小学校、枚方市立山田東小学校・長尾小学校、豊中市立桜井谷東小学校・第11中学校、奈良県香芝市立志都美小学校、奈良県御所市立葛城小学校、奈良県斑鳩町立斑鳩小学校、和歌山市立藤戸台小学校、府立布施北高等学校・泉北高等支援学校・富田林支援学校・藤井寺支援学校・岸和田支援学校・堺聴覚支援学校中等部、奈良県立明日香養護学校、黒滝村立黒滝小学校、追手門学院小学校、明星高校、四天王寺中学校他

《来館校数：47校、生徒数：3,742人》

(3) 学校団体利用促進

学校団体への来館を促すため、各学校へ訪問し、体験学習等の案内を紹介した。

《訪問学校数：53校》

(4) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

(5) 大学生博物館学実習および芸術大学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援

した。

ア. 博物館実習

7月29日 奈良大学通信教育 博物館実習 49人

8月10～14日 博物館実習 帝塚山学院大学・京都産業大学・大阪芸術大学・金沢美術
工芸大学・同志社大学・大阪大学・京都外国語大学・武庫川大学・奈
良女子大学・滋賀大学 20人

11月27日 関西大学 博物館実習 動態モニタリングおよび展示評価調査 60人

イ. 実習・研修《受入件数：9件、学生数：340人》

4月13日 大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸・金工コース研修 55人

4月20日 大阪芸術大学 環境デザイン学科研修 15人

5月12日 大阪府高齢者大学校 歴史学古代科研修 50人

5月17日 大阪府高齢者大学校 美の世界と芸術散歩科研修 50人

6月4日 大阪大谷大学 文学部文化財学科研修 49人

6月10日 堺自由の泉大学研修 32人

6月28日 大阪芸術大学放送学科 実習作品ドキュメンタリー制作 2人

10月6日 大阪府高齢者大学 歴史考古学研究科 36人

11月17日 大阪芸術大学 写真学科 写真实習 51人

(6) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の
職業選択の参考とする体験の支援をした。

10月13日 職業体験 河南町立河南中学校 4人

11月9・10日 職業体験 太子町立太子中学校 10人

12月1日 職業体験 富田林市立第1中学校 1人

12月8日 大手前高校 集中セミナー 8人

3月8日 職業体験 河内長野市立千代田中学校 5人

(7) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。

8月18・19日 高等学校初任者研修 泉北高等学校・住吉高等学校 4人

8月19日 大阪府町村教育委員会連絡協議会 夏季研修会 60人

10月8日 科学研究費補助金(基盤研究B)「日本古代手工業史における埴輪生産構造の
変遷と技術移転から見た古墳時代政治史の研究」の研修 16人

10月12日 JICA研修(アフリカ人研修員)大阪府立母子保健センター 9人

10月21日 四天王寺福祉事業団研修 60人

11月15日 大阪府府政学習会（第3回公募型府政学習会）世界文化遺産登録を理解する研修 14人

11月18日 香芝市教頭会研修 12人

1月6日 教職員研修 2人

2月21日 大阪府文化財愛護推進委員全体研修会 94人

(8) 一日館長の選定

隣接する河南町立大宝小学校が「近つ飛鳥小学校」として誕生することを機に、児童による一日館長を任命した。博物館に隣接する地元住民、特に児童に対して、博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促し、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努めた。

8月21日 河南町立近つ飛鳥小学校6年生 1人

(9) 地元大学との連携

大阪芸術大学に、ポスターデザイン、音声ガイド等の協力を得た。

ア. 冬季特別展ポスターデザイン

デザイン学科学生及び教授の指導

イ. 文化庁ミュージアム活性化支援事業

大阪芸術大学放送学科学生による音声ガイド音声吹込み及び教授の指導。

龍谷大学、奈良大学、京都大学学生による音声ガイド原稿の中国語、韓国語翻訳と音声吹込み及び教授の指導。

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 河内飛鳥れきしウォーク

学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。

5月28日(土) 春季特別展「文字資料の宝庫 飛鳥・藤原宮を訪ねて」

《当日雨天 参加者21人(応募58人)》

11月3日(木・祝) 秋季特別展「第1回百舌鳥古墳群を歩く」

《参加者81人(応募81人)》

11月19日(土) 秋季特別展「第2回古市古墳群を歩く」

《当日雨天参加者18人(応募72人)》

12月1～2日 「香川の旅」 廣瀬時習 国際交流サービス旅行会社連携

《参加者24人》

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

- 5月8日 継体朝歴史研修会第50回研修会「継体天皇と鉄資源」森本徹 33人
- 5月22日 弥生文化博物館春季企画展「河内のムラの物語」第1回セミナー「古墳のムラの物語」 森本徹 79人
- 7月21日 大阪府立中央図書館 大阪歴史探訪「櫛のうつりかわりー縄文時代から古墳時代を中心にー」 関本優美子 54人
- 8月4日 けあばる大学講座「動物埴輪を中心とした話」飯田浩光 15人
- 8月23日 第18回「博物館実地研修」特別講義 奈良大学・帝塚山学院大学・皇學館大学「近つ飛鳥博物館の学芸活動」市本芳三 67人
- 9月19日 でかける博物館講演会 559人
講演と対談 「日本古代史で大阪が果たした役割を考える」
白石「百舌鳥・古市古墳群の出現は何を物語するのか」
中尾芳治「日本古代史における難波宮」
- 9月27日 四條畷市立公民館歴史講座「古墳時代の人々がみた動物ー出土遺物から探るー」飯田浩光 26人
- 10月13日 高槻市立如是公民館「タイムスリップ！埴輪や絵馬になった動物達」飯田浩光 19人
- 10月26日 おおさかふみんネット「大阪古墳探検ー倭国の誕生となにわー」廣瀬時習 41人
- 10月27日 はびきの市民大学「イブニングスクール」南河内の歴史環境を考える「近つ飛鳥博物館と大阪の遺跡-府立博物館の役割-」市本芳三 39人
- 11月10日 けあばる大学講座「百舌鳥・古市古墳群の埋葬施設」森本徹 15人
- 11月17日 大阪府立中央図書館大阪歴史探訪「古墳終焉の国際環境」森本徹 97人
- 11月29日 四條畷市立公民館歴史講座「河内の飛鳥白鳳古代寺院ー生駒山麓に立ち並ぶ姿ー」市本芳三 26人
- 12月3日 八尾市立しおんじやま古墳学習館「大阪の古墳を知ろう！～百舌鳥・古市古墳群～」廣瀬時習 18人
- 12月17日 東大阪市立埋蔵文化財センター「河内の群集墳探訪」飯田浩光 91人
- 2月16日 大阪府立中央図書館大阪歴史探訪「古墳時代の渡来人がもちこんだ食文化」
小林千夏 67人 《合計16件 1,246人》

(3) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。

4月26日～5月8日 大阪府立狭山池博物館「一須賀古墳群と近つ飛鳥博物館」
7,725人

8月19日 咲州庁舎 魅力発信・体感イベント 3,689人

11月5日 兵庫県立考古博物館 第4回考古博古代体験秋まつり 91人

2月26日 NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会「古代史フォーラム2012」
439人

3月7日～25日 太子町竹内街道資料館スポット展示「最古の国道竹内街道の源流～
難波大道の発掘調査～」 297人

(4) 地元市町村との連携

地元市町村の文化祭、遺跡発掘現地説明会など催しへの積極的な参加をした。

8月18日 JA大阪南「小学生農業・歴史探検」 75人

10月2日 かなんフェス 53人

10月9日 大宝まつり 河南町地元自治会 140人

11月5日 河南町文化協会 第9回秋の文化祭典 98人

11月23日 富田林市 石川市民まつり 120人

7. 「体験する博物館」事業

(1) 校外学習ワークショップ

小・中学校および高校生の校外学習に合わせて、工作教室的なワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。

(2) 修羅ひき体験

博物館に展示している古墳時代の運搬具、国重要文化財「修羅」の復原品を実際に曳き、古代の運搬を体験した。風土記の丘で実施し、古墳築造にかかる古代人の力を想像させ、風土記の丘の活用とした。

5月3日（火・祝）他、校外学習にあわせて実施した。《5月3日 122人》

(3) 子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、ペーパークラフトによる博物館の展示品や拓本体験等の工作室を開催した。

8月14日(日) 86人

(4) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

7月24日(日)、8月6日(土)、8月28日(日)、1月21日(土)

《参加合計：425人》

(5) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者に着用体験していただいた。

5月21日、10月15日、11月19日、12月17日、2月18日、3月17・31日《参加合計：139人》

8. 各種連携事業

(1) 公共機関との連携事業

ア. こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援する。展示品に関わるものを作ったり、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作を実施した。

毎月1回 全12回

《参加者合計：258人》

イ. 府内市町との連携 冬季特別展「おおさかを掘る2011」

資料借用、図録原稿、調査成果報告会での講演等の協力を得た。

ウ. 寝屋川市教育委員会：復原修景した太秦高塚古墳へ設置する埴輪作製の協力

(2) その他

ア. りそな総合研究所株式会社との連携による講演会

9月19日(月・祝)《参加者：559人》りそな銀行本店講堂の使用、広報協力講演と対談 「日本古代史で大阪が果たした役割を考える」

白石太郎「百舌鳥・古市古墳群の出現は何を物語るのか」

中尾芳治「日本古代史における難波宮」

イ. 近つ飛鳥を梅いっばいに

3月3日(土) 安藤忠雄氏講演会 《参加者：388人》

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として音楽、古典芸能、茶会、昔話などの催しを行った。
あわせて、民家を貸部屋として市民の文化活動団体に提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

1) 市民オープンイベント

① フォークコンサート

ア.内 容 フォークソング愛好会「バガボンズ」による演奏会。

イ.実施日 4月17日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

② みんなで歌おう

ア.内 容 「みんなかーず」による童謡・唱歌を中心とした歌声コンサート。

イ.実施日 5月3日(火・祝)

ウ.場 所 大和十津川の民家

③ 弦楽四重奏と打楽器演奏

ア.内 容 大阪センチュリー交響楽団有志による演奏会。

イ.実施日 5月5日(木・祝)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④ オカリナとギター演奏

ア.内 容 「S. O. P」によるオカリナとギターのコラボ演奏。

イ.実施日 5月7日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑤ むかし話を聞きましょう

ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。

イ.実施日 6月12日(日)・11月19日(土)・3月20日(火・祝)

ウ.場 所 大和十津川の民家、飛騨白川の民家

⑥ 宮澤賢治の世界

ア.内 容 「でくの工房」による宮澤賢治作品の朗読と映像鑑賞。

イ.実施日 7月9日(土)・10日(日)

ウ.場 所 南部の曲家

⑦ みんな怪談話

ア.内 容 「雲の会」による昔から伝わる怪談の朗読。

イ.実施日 7月23日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑧ 宮澤賢治の童話がたり

ア.内 容 「岩手県大阪事務所」による童話語りとチェロ演奏。

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

35号 平成23年9月30日 発行

36号 平成24年3月31日 発行

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。

「館報15」 平成24年3月31日発行

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成する。3か月単位のミュージアムカレンダーの作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

《報道提供 19回》

《新聞雑誌等広報記事掲載 210回》

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、近鉄ケーブルネットワークや近鉄文化サロンのパンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

(6) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信した。

《アクセス数：227,893件、ホームページ更新回数：57回、ブログ更新回数：73回》

(7) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。また、館報は研究論文等を掲載しているところから、有償配布も実施した。

春季特別展図録 (広報1,000冊・販売1,400冊)

秋季特別展図録 (広報1,000冊・販売2,000冊)

冬季特別展図録（広報 1,000 冊・販売 800 冊）

館報 15 （広報 1,000 冊・販売 200 冊）

（8）所蔵資料の活用

当館所蔵の展示資料・写真資料を他館等への出陳や印刷物への写真資料掲載のため、貸し出した。

博物館等の公共機関への展示資料の貸出 14 件

博物館等の公共機関への写真資料の貸出 38 件

出版社等への写真資料の貸出 29 件

（9）研究事業

ア. 他博物館などと連携した研究活動を行った。

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。

12月11日 「五條をめぐる」バスツアー《参加者47人》

イ. 国内・海外の研究者との学術交流を行った。

《国内：岡山市埋蔵文化財センター、島根県古代文化センター他26人》

《海外：韓国国立中央博物館、中国陝西歴史博物館、エジプト考古省他24人》

10. 資料調査収集製作事業

（1）図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を購入した。

（2）館蔵資料の資料管理、学術的整理

ア. 国重要文化財「修羅」の保存処理後の定期点検を実施した。 3月11日

イ. 紫金山古墳、南塚古墳出土資料の保全状況の点検を実施した。 10月31日

11. サービス事業

（1）特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（5月2日）と8月の盆休暇中の月曜日（8月15日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

（2）マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

（3）普及ゾーンの開館時間を10時から9時45分に改定した。

小学校団体の待機場所や風土記の丘の利用、図書コーナーの利用者に対して、利便をはかった。

(4) 博物館グッズの販売、開発

当財団刊行の発掘調査報告書の販売を拡充した。

(5) 設備の更新等

来館者の便宜或いは省資源化を目的とし、設備の更新等を実施した。

ア. スポット照明の変更：特別展示室と常設展示室の一部を LED 電球に変更し、展示品を鮮明に見せると共に省電力化に努めた。

イ. 防犯用カメラの設置：博物館隣接駐車場の状況を館内から把握できるように、カメラを設置した。

12. 入館者数及び入館料一覧

(平成23年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	3,092	1,425	4,517	17,797	22,314	750,540	91
割合 (%)	17.5	9.7	14.0	26.5	22.4	11.6	
春季特別展 (4・23～6・26) 倭人と文字の出会い	5,118	4,315	9,433	16,134	25,567	2,093,260	57
割合 (%)	29.0	29.5	29.2	24.0	25.7	32.4	
夏季企画展 (7・16～9・4) 動物大百科	2,353	1,932	4,285	8,491	12,776	758,520	44
割合 (%)	13.3	13.2	13.3	12.6	12.8	11.7	
秋季特別展 (10・1～12・4) 百舌鳥・古市の陵墓古墳	4,569	4,854	9,423	12,473	21,896	1,856,980	56
割合 (%)	25.9	33.2	29.2	18.6	22.0	28.7	
冬季特別展 (1・21～3・25) 歴史発掘おおさか2011	2,519	2,099	4,618	12,276	16,894	1,008,060	56
割合 (%)	14.3	14.4	14.3	18.3	17.0	15.6	
合計	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成22年度実績	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306
平成21年度実績	24,375	18,131	42,506	65,979	108,485	8,177,020	307
平成20年度実績	20,272	15,711	35,983	64,621	100,604	6,689,600	306

VI 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア
国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家
国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家
大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉
未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵
その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。
また、展示室「カルチュアはっとり」を設置している。
- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア
大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家
大阪府指定民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台
未指定 = 北河内の茶室、刳舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

- ① 「呑彩会展」
 - ア. 開催概要
豊中市内在住の絵画サークル「呑彩会」による、市内の風景画を中心とした水彩画作品を展示した。
 - イ. 開催期間 平成23年4月1日（金）～4月14日（木）
 - ウ. 場 所 日向椎葉の民家
- ② 「春のてまり展」
 - ア. 開催概要
日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。
 - イ. 開催期間 平成23年4月3日（日）～4月17日（日）
 - ウ. 場 所 堂島の米蔵
- ③ 「切り絵展」
 - ア. 開催概要
切り絵作家、阪上隆氏による、古典に題材をとった切り絵作品を展示した。
 - イ. 開催期間 平成23年7月31日（日）～8月14日（日）
 - ウ. 場 所 展示室「カルチュアはっとり」
- ④ 「FEB写真展」

ア. 開催概要

写真サークル「FEB」による、民家風景を中心にした写真作品を展示した。

イ. 開催期間 平成23年9月3日(土)～9月16日(金)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

⑤「能面の世界・4」

ア. 開催概要

「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ. 開催期間 平成23年10月8日(土)～10月21日(金)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

⑥「慢々会 水墨画展」

ア. 開催概要

水墨画同好会「慢々会」による作品を展示した。

イ. 開催期間 平成23年10月9日(日)～10月16日(日)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

⑦「陶芸展」

ア. 開催概要

「クリエーションクラブ」による創作陶芸作品を展示した。

イ. 開催期間 平成23年10月19日(水)～10月30日(日)

ウ. 場 所 飛驒白川の民家

⑧「秋の文化芸術祭」

ア. 開催概要

北摂地域で活動する芸術グループによる絵画・写真・陶芸などの作品を展示した。

イ. 開催期間 平成23年11月5日(土)～11月13日(日)

ウ. 場 所 各民家(飛驒白川の民家・南部の曲家・北河内の茶室を除く)

(3) 文化庁地域伝統文化総合活性化事業に関わる展示

①「親子書道教室 作品展」

ア. 開催概要

「みんな伝統文化体験教室」の親子書道教室参加者の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成24年3月20日(火・祝)～3月25日(日)

ウ. 場 所 展示室カルチュアはっとり

②「子ども絵画教室 作品展」

ア. 開催概要

「みんな子ども絵画教室」参加者の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成24年3月20日(火・祝)～3月31日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

(4) 企画展示「岩手県・南部地方の民家と暮らし2」

ア. 開催概要

当館に移築された、「南部の曲家」の故郷・岩手県紫波郡矢巾町及び遠野市近辺の民家と暮らし、風土や民俗行事を紹介し、当館所蔵の民具資料とともに展示した。

イ. 開催期間 平成23年11月5日(土)～12月25日(日)

ウ.場 所 展示室「カルチュアはっとり」

(5) 特別展示「昔の暮らし」

ア. 開催概要

当館所蔵の民具や、一般から寄贈された、古くから残る道具を展示。それらを使用していた頃の暮らしや時代の変化、先人の工夫などを考察する機会とした。

イ. 開催期間 平成24年1月17日(火)～2月29日(水)

ウ.場 所 展示室「カルチュアはっとり」

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親んでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月19日(火)～ 5月8日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(日)～ 5月5日(木・祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：7月2日(土) かざり：7月2日(土) ～7月7日(木)	大和十津川の民家 縁側	体験参加者 40名
お盆飾り	8月13日(土)～ 8月16日(火)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9月13日(火)～ 9月17日(土)	大和十津川の民家	
正月かざり	1月5日(木)～ 1月15日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月14日(土)	飛騨白川の民家	雑煮販売 91食

桃の節句・雛飾り	2月4日(土)～ 3月3日(土)	越前敦賀の民家	
----------	---------------------	---------	--

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
アート&クラフト(竹細工・折り紙ほか)	4月30日(土)・5月1日(日) 5月3日(火)・4日(水)	館内広場 飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	江頭文雄 他 約40名
昔の遊び体験	5月5日(木)	館内広場	久保田栄 他 約80名
親子たけのこ掘り	4月9日(土)・16日(土)	館内竹林	奥村管理員 56名
こんにゃく作り	4月24日(日)	日向椎葉の 民家前広場	大坪 章 他 約50名
土間たたきワークショップ	8月20日(土)	大和十津川の 民家	山城学芸員 15名
紙すき体験	8月27日(土)	飛騨白川の 民家	紙すき工房 約30名
親子芋掘り体験	10月15日(土)・16日(日)	日向椎葉の 民家前広場	久保田栄他 36名
餅つき体験	2月5日(土)・6日(日)	日向椎葉の 民家前	佐藤文夫 他 約100名
コマ遊び	4月2日～7月2日・9月3 日～12月3日・2月18日～3 月24日の各土曜日34回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 他 各回20名 約700名
石臼体験	4月10日～6月26日の第2・ 4・9月11日～12月11日・ 1月22日～3月25日 の各日曜日 30回実施	石臼コーナー	西野誠一 他 各回10名 約300名
わらざうり作り	6月5日・19日・10月23日 ～11月13日・3月4日～25 日の各日曜日 10回実施	南部の曲家	山本捷子 他 各回5名 約50名
はたおり体験	11月19日～23日4回実施	南部の曲家	かるがも広 場 約40名

イ.実施日 9月19日(月・祝)

ウ.場 所 南部の曲家

⑨ 落語で笑うて民家

ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。

イ.実施日 10月29日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑩ 箏の演奏会

ア.内 容 川島正子・柳友紀子氏による春をテーマにした箏の演奏。

イ.実施日 3月20日(火・祝)

ウ.場 所 大和十津川の民家

2) みんな伝統文化体験教室発表会

① 親子茶道教室 お手前披露会

ア.内 容 「親子茶道教室」参加者によるお茶会。

イ.実施日 3月18日(日)

ウ.場 所 北河内の茶室

3) 貸部屋提供

年間、118件 (施設利用料収入 894,000円)の利用があった。

(4) 特別企画事業

①第4回「日本民家集落博物館まつり」

ア.内 容 親しめる博物館としてPRするため、民家のふるさと物産展、体験コーナー、しの笛演奏、ミュージックカフェ、模擬店、府立2博物館による「出かける博物館」等を実施。当日は終日荒天の為、中止せざるをえないイベントもあり、入館者は例年に比べ減少した。(当日入館者数 430名)

イ.実施日 11月19日(土)

②第3回「観月会」

ア.内 容 中秋の名月を民家で観賞して貰うため、18時から夜間開館し、月見団子・民家のお茶の賞味、虫の声・雅楽観賞、月のお話など実施。(当日参加者159名、内招待20名)

イ.実施日 9月13日(火)

ウ.場 所 日向椎葉の民家、飛騨白川の民家

③民家ツアー「小豆島農村歌舞伎と四国村を訪ねて」

ア.内 容 小豆島農村歌舞伎の鑑賞及び農村歌舞伎舞台や四国村を見学するツアーを当館の学芸員が同行して実施した。

イ.期 間 10月9日(日)～11日(火)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の19名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア.内 容 44名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家
信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 古民家再生協会との連携

ア.内 容 古民家再生協会に協力し、建築コーディネーター養成プログラム「古民家ツアー」の見学を受け入れた。

イ.実施日 8月28日(日)・11月20日(日) 各回20人参加

(4) 連続講座

企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし」に関連して、南部の曲家の建築様式、岩手県（旧南部藩）の風土や民俗について考察する連続講座を開催した。

第一回 「日本の民家とまつり」

講 師：杉本尚次(国立民族学博物館名誉教授)

開催日：平成23年11月19日(土)

第二回 「岩手の自然」

講 師：湯本貴和(総合地球環境学研究所教授)

開催日：平成24年1月15日(日)

(5) 企画展関連イベント 「岩手県 早池峰(はやちね)神楽」

ア.内 容 企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし2」に関連し、南部の曲家の郷土に伝わる「早池峰神楽」(国指定重要無形民俗文化財/ユネスコ無形遺産登録)の公演を行った。公演両日ともに雨天にもかかわらず、各回約100名の観覧者があった。※初日のみ「南部の曲家の話」(瀬川修/岩手県立博物館学

- 芸員)を同時開催。出演/岩手県花巻市 早池峰神楽 岳(たけ) 神楽保存会
- イ.開催日 平成23年11月5日(土)～6日(日)
- ウ.場所 南部の曲家
- エ.観覧者 約300名

4. 学校教育連携事業

(1) 大学博物館実習

ア.内容 奈良大学通信教育部の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ.期間 平成23年7月30日(土)・31日(日)

ウ.受入人数 49名

(2) 中学生の職場体験学習

ア.内容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期間 平成23年11月9日(水)～11日(金)

ウ.受入人数 2名

(3) こども囲碁クラブ

ア.内容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア12名が指導にあたった。

イ.期間 平成23年4月9日(土)～平成24年3月31日(土)
第一週を除く土曜日 38回実施

ウ.生徒数 40名

(4) みんな伝統文化体験教室

ア.内容 文化庁地域伝統文化総合活性化事業として、近隣の小学校親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催。

イ.期間 平成23年10月9日(日)～平成24年3月18日(日)
毎月2回12回実施

ウ.参加数 各教室10組20名

(5) 小学校の体験学習

ア.内容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習メニューを開発し試行した。

イ.試行日 平成24年2月28日(火)

ウ.受入 豊中市立緑地小学校3年生97名

(6) みんな子ども絵画教室

ア.内容 小学生を対象に、絵画を通じてより民家や囲炉裏に親しみと興味を深めてもらう目的で実施した。

イ.期 間 平成23年12月10日(土)～平成24年3月24日(土)

毎月3回12回実施

ウ.参加数 15名

5. ボランティア受入活動事業

ボランティアを公募し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、7名が新規に活動を開始した。

6. 施設整備事業

(1) 土間たたき保存修理工事(朝日新聞文化財団文化財保護助成事業)

ア.内 容 文化財の保護及び見学者の安全面から土間補修を実施した。

イ.期 間 平成23年8月17日(水)～30日(火)

ウ.対 象 「大和十津川の民家」「越前敦賀の民家」

(2) 危険高木の伐採

ア.内 容 民家の屋根等に悪影響を及ぼす高木の伐採・剪定を行った。

イ.実施日 平成23年5月16日(月) 休館日に実施

ウ.対 象 「北河内の茶室」「南部の曲家」周辺

(3) 施設案内表示板の刷新

ア.内 容 館内26箇所にある老朽化した案内表示板を撤去し、英語表示を付加した木製案内表示板を設置して、外国人を含む来館者サービスをさせた。

イ.実施期間 平成24年3月13日(火)～3月30日(金)

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋の催し案内(9月～12月)	8月	10,000部
冬の催し案内(1月～3月)	12月	10,000部
春・夏の催し案内(4月～8月)	3月	10,000部

(2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FM ラジオ、ミニコミ紙、北大阪急行電鉄、緑地公園管理事務所等と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。(実績・・・民家の案内 187冊、民俗 8冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成23年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	5,559	1,956,400	26
5月	4,840	1,317,900	26
6月	1,855	550,000	26
7月	1,522	399,050	27
8月	1,168	278,850	26
9月	2,194	625,800	24
10月	4,218	1,083,450	26
11月	4,440	1,223,150	26
12月	1,606	392,700	22
1月	1,825	376,700	24
2月	2,401	497,750	25
3月	2,877	810,000	27
合計	34,505	9,511,750	305

※ 入館料は消費税込みで表示

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成22年度	39,781人	11,523,990円	306日
平成21年度	40,730人	11,840,900円	300日
平成20年度	42,408人	12,468,790円	305日